



きすげ

☎ 042-360-0031 FAX 042-334-0945 www.fuchu11c.fuchu-tokyo.ed.jp/

【焦らず迅速に】三学期始業式 校長講話

校長 山本 周一

三学期は、3年生にとっては自分の進路決定に向けて、そして1, 2年生にはこの1年のまとめと次の学年に向けての準備に取り組むこととなります。自分自身の状況を見つめて、必要なことは何かを考え、計画的に進めてください。今日のテーマである「焦らず迅速に」ということは、矛盾しているような表現に感じられる面もあると思います。「焦る」場面は多くの場合、直面した課題に対処方法が分からなかったり、対処方法を知っていても時間がなかったりするときに起こりがちです。一方で「迅速に行う」ということは所定の手順が分かっている、それを速やかに行っていくということです。したがって「焦らず迅速に」というテーマの中には、焦らない状況をどう作るかということや対処可能なことを確実にを行うためにはどうすればよいかということが含まれます。三年生が直面する入試を例に考えてみたいと思います。入試において焦りを生じさせる場面は大きく三つにまとめられます。①試験会場まで行くまで、②受験会場で予定外のことが起こったとき、③試験問題が渡されて分からなかったり時間が無くなったりしているときなどです。①については既に説明会に参加したり下見をしている人は焦ることはほとんどないと思います。もしもあるとすれば予定していた交通機関がマヒした時でしょう。しかし下見等もしておらず、スマートフォンの地図で行けるだろうと考えている人は要注意です。スマートフォンは原則持ち込みについて制限されているので焦る要素の一つ自分で作っていることとなります。②については、会場校の先生の指示に従って対応すれば大丈夫です。③については、試験問題は誰もがはじめて見るものですので、みんな緊張したり、時間が迫ってくると焦ったりします。その中で違いが出るとすれば、問題全体を把握してどう対応したらよいか見通しをもって問題に向かえるかということだと思います。試験問題が配られたら、初めに全体を見てみて、解き方の方針が見通せる問題、見当もつかない問題などをはじめに把握します。そして、確実にできる問題を見極めて、その問題は取りこぼさないようにすることが大切です。出来そうもない問題に時間をかけすぎて、できるはずの問題に時間がかけられなかったりすると、それこそ焦って取りこぼしてしまいます。全体を把握して、取りこぼしなく積み重ねる姿勢で臨むことが、焦らず迅速に、そして確実にを行うコツだと思います。

「焦らず迅速に」というときには、見通しを持って取り組むことが何よりも大切であり、日頃から意識して取り組むようにしましょう。



【書初めの展示】3階廊下1年生の作品展示

【校内研究授業】 1月13日（金）⑤ 3-1美術 榊原先生

コマ撮りアニメーション「転生中学生」

本校は、東京都の授業改善推進拠点校として生徒の学力向上を図るため、実践的に研究を行っています。今回は、3年3組の美術の研究授業を全教員で参観しました。生徒は課題に対して、タブレットを使って工夫しながら楽しそうに授業に取り組んでいました。府中第三中学校長 持田先生をお招きして、研究協議を行いました。特に、生徒が主体的に学習に取り組む授業づくりの工夫、ループリックを使った評価方法について協議が深まりました。

《研究授業の様子》



学校からの連絡 今年もよろしくお願い致します。

・学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。本年度は、185件の回答をいただきました。集計して質問に対する肯定的な回答の割合を調べました。「学校が出す連絡文書等で学校の様子がよくわかる。」87.5%、「子どもは学校の生活や授業のことについてよく話をしてくれる。」74.3%という結果で、回答いただいた御家庭においては、だいたい学校の様子がわかって回答していただいていると考えました。最も肯定的な回答が低かったのが「学校は、分かりやすい授業を行っている。」に対する62.2%でした。本年度は、授業公開も各学期実施できました。その都度、アンケートでご意見を頂き確認をしています。3学期は、3月4日（土）学習発表会の日に授業公開を予定しています。どうぞ、ご参観頂きご意見をお願いいたします。

《主な自由意見》

最も多かった意見は、『学校生活における感染対策』です。そのほとんどが、〈感染対策が過剰ではないか〉、〈普通の中学校生活を味あわせてあげたい〉というものでした。学校としては、安全を第一に考え、府中市の方針に合わせて対応していきます。もうしばらく、ご協力ください。

次に多かった意見は、『データ添付機能が使えるメール配信機能（スマート連絡帳）』についての利便性の高評価と利用促進の意見です。現在、保護者向け通知についてはスマート連絡帳で配信し、生徒にも確認してもらいたい通知は、印刷物として配布しています。学校だよりや月行事予定は、HPにもアップするようにしています。ICT機器の普及、ペーパーレス化・環境保全の流れからも利用方法について検討しています。

それ以外に、『評価方法』、『定期考査の通知方法』、『特別支援教室の運営方法』等についてご意見を頂きました。参考にさせていただき、検討してまいります。